

日本顕微鏡学会会報

2008
No.1

社団法人 日本顕微鏡学会

■2008年3月31日発行

■〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町
1-25 秋葉原鴻池ビル3F

■TEL: 03-5207-8813 ■FAX: 03-5207-8816

■E-mail: kenbiky@realize-se.co.jp

■URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsm>

◇日本顕微鏡学会第64回学術講演会について

日本顕微鏡学会第64回学術講演会は、2008年5月21日(水)～23日(金)にかけて、京都国際会議場(京都市左京区)で下記の通り開催することとなりました。今回の全体テーマは「顕微鏡イノベーション」です。

会期翌日の5月24日(土)には場所を京都テルサ(京都市南区)に移し、関連行事として市民公開講座を開催いたします。顕微鏡に関わる「先人たちの見たミクロの世界」の講演で、生物顕微鏡の歴史に加えて最近の顕微鏡の拓く世界を紹介いたします。そのあと、光学顕微鏡や電子顕微鏡を演示し、参加者にこれらの装置を実際に触ってもらいます。この中で小中高生、父兄の参加を得て、光学顕微鏡、電子顕微鏡の学術紹介と実習を行います。顕微鏡は生物学や材料学発展の原動力でしたが、それを生徒と父兄に肌で感じていただく新しい形の講演会です。

1. 日程: 2008年5月21日(水)～23日(金)
2. 会場: 国立京都国際会議場(京都市左京区宝ヶ池)
3. 参加登録方法:

(1) 登録方法

募集要項に挟み込みの払込取扱票にてお支払いを行って下さい。

また、払込取扱票をお持ちでない方は、郵便局備付の赤色の用紙にて下記口座番号にお振込み下さい。その際には、住所氏名と、参加費区分、懇親会区分、要旨集の要不要を記入して下さい。

郵便振替: 日本顕微鏡学会第64回学術講演会
口座番号 00900-0-140937

※払込取扱票の通信欄を必ず記入して下さい。

※払込手数料は学術講演会にて負担します。

(2) 登録受付期間および参加費

- ・日本顕微鏡学会正会員 共催学会会員
早期登録 7,000円(4月11日まで)、通常登録 8,000円
- ・非会員
早期登録 12,000円(4月11日まで)、通常登録 14,000円
- ・日本顕微鏡学会学生会員(学部学生・大学院生)

早期登録・通常登録ともに 0円

非会員・共催学会の方で指定講演者の参加費は無料となります。

学生会員については、指導教員の在籍証明書を当日、受付に提出し登録して下さい(参加登録の必要はありません)。ただし、懇親会に参加される方、要旨集が必要な方は、登録をお願いします。

※早期登録申込受付は、2008年4月11日(金)までといたします。また、5月1日(木)以降につきましては、当日会場にてお申し込みください。

4. 懇親会: 5月22日(木) 18:30より国立京都国際会館内スワンにて(予定)

- ・日本顕微鏡学会正会員 共催学会会員
早期登録 7,000円(4月11日まで)、通常登録 8,000円
 - ・非会員
早期登録 7,000円(4月11日まで)、通常登録 9,000円
 - ・日本顕微鏡学会学生会員(学部学生・大学院生)
早期登録 3,000円(4月11日まで)、通常登録 4,000円
- 非会員・共催学会の方で指定講演者の懇親会費は無料となります。

懇親会に参加される学生会員については懇親会費をお支払い下さい。

申込方法: 募集要項挟み込みの払込取扱票にてお支払いを行って下さい。

5. お問い合わせ先

日本顕微鏡学会第64回学術講演会事務局

((株)アイキューブつくば大阪支社内)

〒561-0872 豊中市寺内2-13-1-602

TEL: 06-6865-5227 FAX: 06-6865-5261

E-mail: sec@jism64.com

6. 学術講演会 HP: <http://jism64.umin.jp/>

7. 実行委員会:

委員長: 磯田正二(京都大学), 弘津禎彦(大阪大学), 永山國昭(岡崎統合バイオサイエンスセンター), 乾晴行(京都大学), 森博太郎(大阪大学), 平山 司(ファイ)

ンセラミックセンター), 瀬藤光利 (岡崎総合バイオサイエンスセンター), 杉山淳司 (京都大学), 砂子沢成人 (日立ハイテクノロジーズ), 近藤行人 (日本電子), 青山一弘 (日本FEI), 亀井一人 (住友金属工業), 藤田 真 (島津製作所), 北田容章 (京都大学), 一色俊之 (京都工芸繊維大学), 溝口 明 (三重大学), 田中信夫 (名古屋大学), 竹田精治 (大阪大学), 石村和敬 (徳島大学), 小澤一史 (日本医科大学), 出澤真理 (京都大学), 倉田博基 (京都大学)

◇第18回電子顕微鏡大学開催のご案内

— 初心者と中堅のための電子顕微鏡技術セミナー —

電子顕微鏡はナノマテリアルをはじめとする先端材料の研究やバイオロジーの分野まで広い領域で, 高度で有用な物質情報収集の担い手として, とみに存在感を増しつつあります。しかし, その機能と性能を十分に活用し, 真に有用なデータを得るには, どうしてもある程度の基礎知識と操作の技術が要求されることも事実です。

こうした状況を踏まえ, 材料研究に従事する研究者や技術者で, これから電子顕微鏡を利用しようとする人あるいは, 始めて間もない初級・中級レベルの人を対象に, 電子顕微鏡法の基礎的技術セミナー「電子顕微鏡大学」を開講しています。電子顕微鏡による材料の評価法及び分析法を講義して好評のうちに今回で第18回目を迎えます。アンケートによる受講者の意見の迅速な反映, 好評の「質問・解答集」の送付など, 受講者講師陣一体となった「平易で役立つセミナー」となるよう情熱を傾けています。物質・材料研究の次代を担う諸兄の受講をお誘い致します。

主催: 日本顕微鏡学会

日時: 2008年4月24日(木), 25日(金)

会場: 東京大学本郷キャンパス 理学部1号館

小柴ホール (東京都文京区本郷7-3-1)

地図はこちら (http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_06_01_j.html)

交通詳細はこちら (http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html)

定員: 150名 (定員に至った時点で締め切ります)

受講料 (テキスト代含む):

日本顕微鏡学会会員および同賛助会員 30,000円, 協賛学会会員 45,000円, 非会員 60,000円, 学生 10,000円

〈協賛学協会〉

日本物理学会 応用物理学会 日本分析化学会 日本金属学会 日本鉄鋼協会 電気学会 電子情報通信学会 軽金属学会 日本アルミニウム協会 表面技術協会 高分子学会 高温学会 日本セラミックス協会 日本電子材料技術協会 日本複合材料学会 日本表面科学会 日本アイソトープ協会 日本生物物理学会 日本結晶学会 日本航空宇宙工業会 日本塑性加工学会 日本材料学会 日本材料科学会 精密工学会 ステンレス協会 溶接学会 (予定,

順不同)

申込先: 「電頭大学」事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻内

TEL: 03-5841-4548 FAX: 03-5841-4555

E-mail: kogure@eps.s.u-tokyo.ac.jp

申込締切: 2008年4月17日(木)

申込方法:

表題を「第18回電頭大学参加申込書」とし, 氏名・勤務先・所属・住所・電話・FAX・E-mail・申込資格*を記入のうえ, 郵便またはE-mailのいずれかによりお申し込み下さい。定員以内であれば, 受理通知を差し上げます。受講料は受理通知受領後に納入してください。

*: (1) 本学会会員, 2) 協賛学会会員, 3) 本学会賛助会員, 4) 非会員, 5) 学生のうちから該当の資格をお選びください。1) については会員番号を, 2) については学会名・会員番号をそれぞれご記入下さい。

振込方法:

下記の口座に郵便振込にて受講料を申込締切日までに, お振り込みください。振込が確認された時点で「受講証」と領収証をお送り致します。「受講証」は当日会場で御呈示して頂きますので大切に保管して御持参下さい。

振込口座:

ゆうちょ銀行

番号: 10140-19160451

名称: 電子顕微鏡大学

◇第18回電子顕微鏡大学プログラム(予定)

〈第1日目〉4月24日(木) 9:40~17:15

〈イントロダクション〉

1. 電子顕微鏡のハードウェア—基本構造のやさしい解説—
及川哲夫 (日本電子)

〈電子顕微鏡特論 (1) 構造解析〉

2. 電子回折法—回折図形の原理と構造情報—
田中通義 (東北大・多元研)
3. 明視野像法, 暗視野像法—材料組織と格子欠陥の詳細な観察法—
坂 公恭 (名大・工)
4. 原子構造の解析

- 1) 高分解能電頭法の基礎—格子像原理のわかりやすい解説—
田中信夫 (名大・工)
- 2) 高分解能電頭法の実際—格子像観察で守るべき技術的ポイント—
市野瀬英喜 (理化学研究所)

〈第2日目〉4月25日(金) 9:30~17:50

〈電子顕微鏡特論 (2) 局所分析〉

5. 試料作製法—最適試料作成法と新手法—
上田 修 (金沢工業大学)
6. 電子エネルギー損失分光法 (EELS) —電子構造の情報を捉える—
倉田博基 (京大・化研)
7. エネルギー分散型 X線分光法 (EDS) —元素分析の原

〈電子顕微鏡特論 (3) 表面分析〉

8. 表面のマイクロ構造—走査電顕 (SEM・EPMA) SEM 像と元素分析— 永田文男 (ソリューション・ナタ)
9. 表面の原子・電子構造—STM・AFM 原理と技術的ポイント— 富取正彦 (北陸先端科技大)

◇SCAN TECH 2008のご案内

走査電子顕微鏡分科会 / SCAN TECH 実行委員会

SCAN TECH は、走査電子顕微鏡分科会が主催し、各種分野の研究者から SEM 本体、周辺機器に関わる研究者・技術者が一堂に集まり、講師、参加者、実行委員を交えて討論を行う会です。

SEM は半導体材料をはじめとして、電子材料や高分子材料、医学生物、食品・化粧品分野など多岐の分野にわたる解析ツールとして広く活用されています。最近の半導体デバイスや電子・電機デバイスでは、微細化、高速化、軽量化を実現するために、デバイス内部構造の複雑化や新材料の開発が急速に進み、これに伴い SEM による解析も複雑な状況となってきました。一方、医学生物分野ではこれまでに試料内部の複雑な構造を可視化するため試料前処理技術や観察技法が数多く開発されており、このような技術を今後、材料の分野への応用も期待されています。そこで、今回は分野を超えたテクニックの共有化を図り、今後解析が困難となっている材料分野での SEM テクニック向上を目指すことを目的に、“多様化する SEM テクニックと拡がるアプリケーション”をメインテーマに SCAN TECH 2008 を下記の通り開催いたします。

講演中、講師と直接、あるいは参加者同士、気軽にディスカッションが出来る時間を設け、お互いの情報を有効に共有できる会にする予定です。奮ってご参加ください。

記

タイトル：『多様化する SEM テクニックと拡がるアプリケーション』

開催期日：2008 年 9 月 19 日 (金)

会場：日本女子大学 80 年館 851 教室
(東京都文京区目白台 2-8-1)

なお、詳細は走査電子顕微鏡分科会 HP (<http://homepage1.nifty.com/scantech/>) に逐次掲示いたします。

◇第53回学会賞(瀬藤賞)について

2008 年度学会賞 (瀬藤賞) は 14 件の推薦があり、選考委員会からの答申のもと、理事会において以下の会員への授与が決定しました。

【A：顕微鏡基礎部門】

- 大島忠平「電子線の coherency に関する基礎研究」
馬場則男「電子顕微鏡像三次元画像解析に関する特に生物試料観察技法に関する研究」

【B：応用研究 (生物) 部門】

内山安男「細胞内蛋白分解酵素系による神経細胞死制御機構の研究」

【C：応用部門 (非生物) 部門】

木本浩司「電子エネルギー損失分光法の高性能化と材料科学への応用」

◇第23回論文賞について

2008 年度論文賞は 9 件の推薦があり、選考委員会からの答申のもと、理事会において以下の会員への授与が決定しました。

【a. 顕微鏡法基礎部門】

Optical system for double-biprism electron holography
(JEM, 54, 19-27 (2005) : K. Harada, T. Akashi, Y. Togawa, T. Matsuda and A. Tonomura)

【b. 応用研究生物部門】

Three-dimensional structural changes in living hippocampal neurons imaged using magnetic AC mode atomic force microscopy (JEM, 55, 165-172 (2006) : Sun Yunxu, Lin Danying, Rui Yanfang, Han Dong and Ma Wanyun)

【c. 応用研究非生物部門】

該当無し

【d. 和文誌賞】

「同位体顕微鏡—高感度 2 次元イオン検出による結像型 SIMS—」(顕微鏡 Vol. 41, No. 2, pp. 134-137 (2006) : 坂本尚義)

◇第13回技術功労賞について

2008 年度技術功労賞は 4 件の推薦があり、選考委員会からの答申のもと、理事会において以下の会員への授与が決定しました。

①装置・理論研究部門

富田正弘「透過型電子顕微鏡の高性能化技術開発」

②生物系応用研究部門

江原友子「電子顕微鏡連続超薄切片技法の改良・開発」

③物質系応用研究部門

長利 勉「鉄鋼材料 TEM 試料作製法の改良・開発」

◇第 9 回奨励賞について

2008 年度技術功労賞は 11 件の推薦があり、選考委員会からの答申のもと、理事会において以下の会員への授与が決定しました。

I. 顕微鏡法基礎奨励賞

山本和生「次世代高精度高分解能電子線ホログラフィ技術の開発と材料への応用」

III. 物質系応用研究奨励賞

荒河一渡「TEM その場観察法による点欠陥集合体のダイナミクスに関する研究」

浅香 透「ローレンツ顕微鏡法を用いた強相関電子系酸化物の磁気構造に関する研究」

◇第54回学会賞(瀬藤賞)受賞候補者の募集

第54回学会賞(瀬藤賞)受賞候補者(推薦・自薦)を公募します。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦締切は本年7月10日(木)です。

◇第24回論文賞候補者の募集

第24回論文賞候補者(推薦・自薦)を公募します。推薦方法は過去二年間の学会誌(「顕微鏡」41・42巻,「JEM」55・56巻)に掲載された論文が対象となっています。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦締切は本年7月10日(木)です。

◇第14回技術功労賞候補者の募集

故神谷芳弘先生からの寄付をもとに平成8年度から電子顕微鏡応用技術の進歩発展に関し、優れた功労のある方に技術功労賞を授与しています。本賞候補者(推薦・自薦)を公募します。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。推薦締切は本年7月10日(木)です。

◇第10回奨励賞候補者の募集

故深井孝之助先生からの寄付をもとに電子顕微鏡学および顕微鏡法研究にかかわる若手研究者奨励のため、平成13年度から奨励賞を設置しています。本賞受賞候補者(推薦・自薦)を公募します(推薦締切:本年7月10日(木))。受賞対象者は本年7月末日において満40歳未満となっています。推薦用紙の請求、手続きの詳細は事務局へ書面にてご連絡下さい。

◇2007年度電子顕微鏡技術認定試験結果の報告

2007年度電子顕微鏡技術認定試験は2007年10月13日に、東京・京都・福岡において二級技士、一級技士I・IIの筆記試験を実施し、一級技士IVの鏡体実技試験については10月20日に東京で実施を致しました。また、10月27日の技術認定委員会(東京)において二級技士、一級技士I・II・III・IVの合否判定を行いました。

その結果を技術認定制度規則9の(4)により下記の通りご報告申し上げます。

- 1) 二級技士: 受験者 58名 合格者 53名 (合格率 91.4%)
- 2) 一級技士I: 受験者 3名 合格者 3名 (合格率 100%)
- 3) 一級技士II: 受験者 1名 合格者 1名 (合格率 100%)
- 4) 一級技士III: 受験者 2名 合格者 1名 (合格率 50%)
- 5) 一級技士IV: 受験者 3名 合格者 3名 (合格率 100%)

【二級技士認定者(合格者)】

権藤久乃(1237), 甲斐壽弘(1238), 大城裕史(1239), 田盛 仁(1240), 福重智子(1241), 中村咲矢香(1242), 勝谷由貴(1243), 関屋雄三(1244), 清水勇輝(1245), 森川みどり(1246), 中村直実(1247), 福田武博(1248), 藤本律子(1249), 古田弓乃(1250), 長谷川妙子(1251), 山之内孝(1252), 井関恭子(1253), 上田愛瑠萌(1254),

橋本康弘(1255), 中島杏子(1256), 的場友里恵(1257), 溝越祐志(1258), 前田哲志(1259), 下柿元雄介(1260), 菊地寿枝(1261), 花坂智人(1262), 川岸克博(1263), 井ノ上大嗣(1264), 高橋香織(1265), 亀澤 一(1266), 矢矧東穂(1267), 渡辺和史(1268), 八木橋陽(1269), 守屋良夫(1270), 高橋知子(1271), 一藤智子(1272), 伊藤光洋(1273), 菅野恵士(1274), 橋本洋二(1275), 沼上秀博(1276), 百瀬正信(1277), 天野 碧(1278), 九場 樹(1279), 山口正伸(1280), 渡邊文祥(1281), 川村秀二(1282), 高見 茂(1283), 久保緋紗子(1284), 伊藤千織(1285), 松田みゆき(1286), 浅野仁美(1287)

【一級技士I合格者】

佐野孝一, 高瀬弘嗣, 岡田公美

【一級技士II合格者】

高瀬弘嗣

【一級技士III合格者】

高瀬弘嗣

【一級技士認定者(一級技士IV合格者)】

矢野哲也, 大野真由子, 渡辺孝平

矢野哲也(94), 大野真由子(95), 渡辺孝平(96)

注) () 内は認定登録番号

◇第17回電子顕微鏡大学収支報告書

2007年4月19日(木)~20日(金)に行われた第17回電子顕微鏡大学には111名の受講者がありました。

参加:	111名
内 訳:	正会員 24名
	賛助会員 27名
	協賛会員 17名
	非会員 34名
	学 生 9名

収 入:	4,531,124 円
内 訳:	学会補助 100,000 円
	受講料 4,425,000 円
	(正会員・賛助会員 30,000 円, 協賛会員 45,000 円, 非会員 60,000 円, 学生 10,000 円)
	テキスト販売 5,000 円
	利子 1,124 円
支 出:	1,748,754 円
収 益:	2,782,370 円

◇第63回学術講演会収支報告書

第63回学術講演会は2007年5月20日(日)～22日(火)に朱鷺メッセ(新潟市)で行われました。

〈収入の部〉科目		(単位:円)	
参加費			
正会員【早期申込】	275	1,925,000	
学生会員【早期申込】	24	48,000	
非会員【早期申込】	93	930,000	
正会員【通常申込】	38	304,000	
学生会員【通常申込】	1	3,000	
非会員【通常申込】	23	276,000	
正会員【当日登録】	151	1,208,000	
学生会員【当日登録】	13	39,000	
非会員【当日登録】	118	1,416,000	
懇親会			
正会員【早期申込】	139	973,000	
学生会員【早期申込】	6	18,000	
非会員【早期申込】	6	48,000	
正会員【通常申込】	13	104,000	
学生会員【通常申込】	0	0	
非会員【通常申込】	1	9,000	
正会員【当日登録】	85	680,000	
学生会員【当日登録】	1	4,000	
非会員【当日登録】	42	378,000	
要旨集		1,230,000	
機器展示		9,849,000	
広告		1,522,500	
協賛セミナー		630,000	
託児室利用料		24,000	
会議室使用料		47,800	
行政補助金		3,760,434	
学会本部補助金		2,500,000	
雑収		33,564	
合計		27,960,298	

〈支出の部〉科目		(単位:円)	
会場費		10,254,047	
旅費・交通費		1,832,326	
講師謝礼		350,000	
会議費		2,966,832	
広報費		1,162,350	
消耗品費		337,299	
印刷費		2,740,021	
事務局費		4,173,410	
通信費		87,237	
各種代行手数料		2,958,172	
支払手数料		32,555	
租税公課		43,666	
合計		26,937,915	

〈収支〉		(単位:円)
収入		27,960,298
支出		26,937,915
収支差額		1,022,383

◇第51回シンポジウム収支報告書

第51回シンポジウムは2007年10月19日(金)～22日(土)に徳島大学長井記念ホール他(徳島市)で行われました。

〈収入の部〉科目		(単位:円)
学会本部補助金		2,300,000
商業展示・広告料		700,000
学会参加費		436,000
合計		3,436,000

〈支出の部〉科目		(単位:円)
会場費		203,450
会場設営費		511,160
印刷費		600,550
非会員シンポジスト旅費		314,400
アルバイト代		125,000
送料(郵便・宅急便)		25,390
事務費		56,050
事務局への返却金		1,600,000
合計		3,436,000

参加者: 総参加者 140名, うち有料参加者 79名
 事前登録 会員 29名(×5000)
 非会員 19名(×6000)
 当日参加 会員 28名(×6000)
 学生 3名(×3000)
 無料参加者 61名

懇親会

参加者総数 75名(うち参加費納入者 46名)

収入	
参加費	230,000 (5000×46)
支出	
会場費	200,000
クリーニング代	30,000
合計	230,000

◇技術認定委員交代の件

2008・2009年度標記委員に以下の会員を委嘱いたします(技術認定試験委員については理事会申し合わせにより掲載しておりません)。

《認定委員(順不同・敬称略)》

土肥良秋^{*}1, 鮫島正純, 京谷陸征, 福島球琳男, 江原友子,

仁木輝緒, 北 重夫, 近藤俊三, 幡場良明, 金子康子,
佐藤眞美子, 吉田まり子
*1 認定委員長

◇顕微鏡和文誌編集委員の件

新たに顕微鏡和文誌編集委員に佐藤主税, 山田作夫, 藤田大介, 朝山匡一郎会員を委嘱いたします。鮫島正純, 吉川尚男, 藤山文乃, 菅原康弘会員が退任となります。

◇日本顕微鏡学会平成19年度第3回理事会議事要旨

日 時: 平成19年10月18日(木) 16:00~18:00 (理事会)

会 場: 徳島大学薬学部多目的ホール
(徳島県徳島市蔵本町3-18-15)

出席者: 理事: 高柳邦夫, 菅沼龍夫, 川上速人, 杉山昌章,
亘理文夫, 進藤大輔, 依藤 宏, 福嶋球琳男,
年森清隆

欧文誌編集委員長: 市野瀬英喜

和文誌編集委員長: 高井義造

広報委員長: 丹司敬義

第64回学術講演会実行委員長: 磯田正二

第18回サマースクール実行委員長: 小澤一史

技術認定委員長: 土肥良秋

【報告事項】

1. 庶務報告: 吉田正雄会員のご逝去ならびに追悼文の件, また前年度会員増強委員会報告を和文誌に挟み込む予定であること, 飯島澄男元会長(2001~2002年)(名城大学, 産業科学総合研究所)がバルザン賞を受賞されたことなどが報告された。

2. 会計報告: 平成19年度予算が予定通り執行されていることなどが報告された。

3. 欧文誌編集委員会報告: 欧文誌編集進捗状況について報告された。また節約等の観点から海外でJEMの印刷を行っていることが報告された。

4. 和文誌編集委員会報告: 和文誌編集進捗状況について報告された。また別冊を年内に刊行の予定であること, 季刊化の準備を進めていることなどが報告された。

5. 第18回サマースクール報告: 第18回サマースクールの開催状況について報告された。

6. 第17回電頭大学報告: 第17回電頭大学の開催状況について報告された。

7. 第64回学術講演会準備状況報告: 国立京都国際会館にて平成20年5月21日(水)~23日(金)開催の予定であること, その準備状況などについて報告された。

8. 支部報告: 北海道, 関東, 関西, 九州の各支部により活動が報告された。

9. 学術運営委員会報告: 平成19年度設置の4研究部会, 7分科会の中間報告がなされた。

10. 技術認定委員会報告: 2007年度認定試験の進捗状況

につき報告された。

11. 広報委員会報告: 広報活動についての報告がなされた。

その他: 名簿作成の進捗状況が報告された。

【議題】

1. 学会組織の件: 公益法人化の件と関連する案件であるので公益法人化と関連して審議を継続することが提案され継続審議となった。

2. 公益法人化の件: 公益法人申請にあたり準備しなければいけない事項の説明, 顕微鏡学会としては公益化へ向けて特務委員会の準備, 対策予算準備をしている等の説明があり, 臨時総会に諮り承認を頂き次第本格的に活動することが提案され承認された。

3. 入退会の件: 入退会者について報告がなされ承認された。

	入会	退会
正会員	11	27
学生会員	1	

4. 協賛・後援依頼の件6件の協賛について承認した。

(株)リアライズ理工センターとの委託契約について: 事務局委託先のリアライズ社(旧リアライズAT社)の社名変更, 住所変更にもない学会事務局の住所変更について説明があり承認された。

臨時総会進行の件: 臨時総会での議題説明, 総会進行などの説明があり承認された。

和文誌季刊化の件: 前理事会からの案件であった季刊化について説明があり次年度からの季刊化が承認された。

5. その他

男女共同参画についての件, 電頭リユースの件が報告の上承認された。

◇関係学協会の案内

1) 実習を主にした・初心者のための 真空技術基礎講習会
会 期: 2008年5月20日(火)~23日(金)

会 場: 大阪府立産業技術総合研究所

問合せ先: (社)大阪府技術協会(大阪府立産業技術総合研究所内)

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野2-7-1

TEL: 0725-53-5329 FAX: 0725-53-2332

2) 第21回国際結晶学連合会議(IUCr2008)

会 期: 2008年8月23日~31日

会 場: グランキューブ大阪

問合せ先: IUCr2008事務局((株)コングレ内)

〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 コングレビル

TEL: 06-6229-2555 FAX: 06-6229-2556

E-mail: iucr2008@congre.co.jp

URL: <http://www.iucr2008.jp>

3) オルガテクノ (ORGATECHNO) 2008

会 期：2008年10月28日(火)～29日(水)

会 場：東京ビッグサイト

問合せ先：ORGATECHNO 事務局 (日本イージェイケイ
(株) 内)

〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-17 赤坂第1
ビル

TEL: 03-5772-1321 FAX: 03-5772-1324

E-mail: tahira@ejk-japan.co.jp (担当：田平)

URL: <http://www.orga-techno.com>

4) 第4回真空・表面科学アジア・オーストラリア会議
(VASSCAA-4) / 第49回真空に関する連合講演会 (併催)

会 期：2008年10月28日-31日

会 場：くまびきメッセ (島根県松江市)

問合せ先：日本真空協会

TEL: 03-3431-4395

E-mail: yoshio.saito@kek.jp

URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/vsj/vasscaa4/>

5) 第8回山崎貞一賞候補者募集

主 催：(財)材料科学技術振興財団

応募締切：2008年4月30日必着

問合せ先：(財)材料科学技術振興財団

TEL: 03-3415-2200 E-mail: prize@mst.or.jp

URL: <http://www.mst.or.jp/prize/>

6) 風戸研究奨励金 (国際会議発表研究費助成) 公募

主 催：(財)風戸研究奨励会

応募締切：(財)風戸研究奨励会事務局

〒196-8558 東京都昭島市武蔵野3-1-2 日本電
子(株) 内

TEL: 042-542-2106 E-mail: kazato@jeol.co.jp

電子顕微鏡並びに関連装置の研究・開発及び電子顕微鏡並
びに関連装置を用いた研究 (医学, 生物学, 材料学, ナノテ
ク, その他) に携わる将来性のある優秀な研究者に研究奨励
金を支給 (奨励金受給者は年末までに会計報告提出). 今回
は「国際会議発表研究費助成」で, 対象会議は APMC9.

交付希望者は, ホームページから申込用紙をダウンロード
の上お手続き下さい.

URL: <http://www.kazato.org>